



やあ! ya!

URL: <http://tia21.or.jp/>

E-mail: tia@tia21.or.jp



▲講演会の押味先生(上段)、ワークショップの岩本先生(下段右端)



▲言語別の通訳実習

「医療通訳ボランティアセミナー」開催

外国人患者と医師の間で通訳する「医療通訳ボランティア」の養成セミナーをとちぎ国際交流センターで開催し、医療通訳者の役割や知識について参加者延べ73名が学んだ。11月26日(土)の講演会は「医療通訳ってどんなもの? これだけは知っておきたいルールとスキル」と題し、医師で、日本大学医学部助教の押味貴之氏を講師に招き「何も足さない、何も引かない、何も変えない」という正確な通訳、守秘義務、社会人としてのコミュニケーション能力の必要性などを学んだ。12月3日(土)、10日(土)には、MIC かながわの岩本弥生氏の指導で、実際の診療や薬の処方などの場面を想定し、ポルトガル語、中国語、スペイン語のグループに分かれて医療通訳を実践し、正確に伝えるためのノウハウを学んだ。参加者はグループワークでは熱心に意見を出し合い、また医療通訳実践を真剣に行っていた。

2012年3月号

No.118

Spring

- ◆やあ! クローズアップ
- ◆国際交流団体紹介
- ◆とちぎに暮らして...
- ◆JICA 情報局

県内留学生ホームステイプログラム
うつのみやラチーノ
岸田カルパナさん(ネパール出身)
平成24年度JICAボランティア春募集説明会

「平成 23 年度市町国際交流協会連絡会議」

毎年度県内市町国際交流協会との情報交換を行い、連携の強化を図ること目的とした「市町国際交流協会連絡会議」を 11 月 30 日(水)にとちぎ国際交流センターで開催した。

今回の会議では、昨年 3 月 11 日に起きた東日本大震災の際の県内外国人支援の対応状況について、まず TIA が説明し、続いて真岡市国際交流協会が真岡市が実施した避難所等における外国人支援状況を説明した。また議題として鹿沼市とさくら市の協会から提出された外国人雇用、協会の運営等の問題について、話し合い、活発な意見交換がされた。



▲東日本大震災の支援状況を説明する
真岡市国際交流協会

更に、佐野市協会から通訳、翻訳の依頼の際の謝金や TIA からのホームページの翻訳等について質問が出され、各市町協会が経験に基づいて回答した。

ブラジル、ペルーから 2 名の日系高校生が来県

南米等県人会短期研修生受入事業(1/15～1/29)で、ナガタ・ハダメシ・ケン・ダビデさん(ブラジル・サンパウロ市)とチュンピタス・イケダ・ノリコさん(ペルー・リマ市)の 2 名の日系高校生及び、引率者として在伯栃木県人会(サンパウロ市)の室井イザベルさんの計 3 名が来県した。

今回の体験通学は鳥山高校。生徒会主催の歓迎会では、学校の年間行事の様子を写真や映像で見たり、生徒会役員による歌を聴いたり、茶道や箏に挑戦した。また、英語、情報、美術、書道、体育など様々な授業や、ダンス部や弓道部などの部活動にも参加し友情の輪を広げた。体験通学中は同校生徒宅でホームステイし、ホストファミリーと楽しいときを過ごした。

その他、県内外視察や親族宅ホームステイも行い、たくさんの思い出を胸に「また日本に来ます！」と約束し、帰国した。



▲箏曲部で箏に挑戦するケンさん(左)とノリコさん(右)

県民外国語講座「はじめての韓国語Ⅱ」&「はじめての英会話」

TIA は、今年度の県民外国語講座第 3 弾・4 弾となる「はじめての韓国語Ⅱ」、「はじめての英会話」を開講した。

1 月 14 日(土)に開講した「はじめての韓国語Ⅱ」(全 10 回)の講師は、ウ・ヒョンテク氏。23 名の受講者は、ハングル文字で難しい発音を丁寧に練習したり、韓国のお金や軍隊の話聞いた。また、毎回授業の最後には韓流ソング『MOMENT』を練習。全員、韓国語で歌えるようになった。



▲熱弁をふるうウ先生

「外国人のための無料法律相談会」

11 月 8 日(火)～12 日(土)の 5 日間、外国人のための無料法律相談会が、とちぎ国際交流センターで開催された。この相談会は、栃木県弁護士会との共催で、平成 12 年度から毎年度 1 回、在県外国人の問題解決に向けての支援のために行われている。

今回も、県内各地から、様々な国籍の相談者 12 名が訪れた。相談内容は、家事問題、損害賠償請求や交通事故など多岐にわたり、近年、問題が多様化・複雑化の傾向にある。解雇により借金が返済できなくなった相談者には、債務

整理のアドバイスがなされた。解決が難しい複雑な問題もあったが、母国語の通訳を介し弁護士に相談する事ができた相談者の顔には、一様に安どの表情が見受けられた。

今回の無料法律相談会結果

相談者内訳: ブラジル 7、ペルー 3、
ボリビア 1、ベトナム 1
相談内容内訳: 家事問題 4 件、職場
の問題 3 件、自己破産
2 件、在留資格 1 件、
交通事故 2 件

平成 23 年度栃木県海外技術研修員が帰国

栃木県海外技術研修員として 9 月 1 日に入国し、研修を受けていたブラジル・サンパウロ市出身の大貫ヴェロニカゆりさんが、5 ヶ月間の研修を終え、1 月 26 日に帰国した。

大貫さんは、1 ヶ月半の日本語研修後、3 ヶ月半、宇都宮市内のグラフィックマンで、グラフィックデザインの専門研修を行った。大貫さんは、明るくまじめな性格でみんなから慕われ、日本で多くの友人もできた。修了式・送別会では、日本語でお礼の言葉を述べたり、自ら作成した研修のビデオを披露した。

帰国後は、栃木県の研修で培った専門技術のノウハウを生かし、ブラジルの発展に貢献するとともに、日本、栃木県とブラジルとの友好交流の懸け橋としての活躍が期待されている。



▲宿泊先のとちぎ青少年センターの皆さんと(大貫さんは前列左から 2 番目)

「はじめての英会話」(全 10 回)は 1 月 19 日(木)に開講。受講者は 26 名。講師は昨年と同様、イギリス出身のマーク・マコーマック氏が担当した。

入門講座にもかかわらず、教科書が洋書ということで驚いた受講者がいたが、授業内容は教科書にしばられることなく、直近のニュースや日常の出来事を話題にしたりして、受講者は楽しく生きた英会話を学んでいた。



▲やさしく教えてくれるマーク先生

やあ！クローズアップ「県内留学生ホームステイプログラム」

県内の大学で学んでいる留学生に日本の家庭での生活を体験してもらおうと、栃木県地域留学生推進協議会及び TIA は、県内の市町国際交流協会及び民間団体に登録しているホストファミリーの協力を得て、毎年、「県内留学生ホームステイプログラム」を実施し、今年度で、9回目になる。

今回は、12月10日(土)～11日(日)の一泊二日の日程で、県内の4大学から30名の留学生が参加し、宇都宮市、栃木市、小山市、足利市の各ホストファミリー宅でホームステイを楽しんだ。

このホームステイプログラムに参加した留学生にホームステイ体験の感想などを聞いてみた。

●劉哲佑さん(台湾の南台科技大学の交換留学生。現在、白鷗大学に留学中。)

僕は、いつも、日本の学生とともに寮生活を送っているため、このようなホームステイは初めてでした。栃木市内のホストファミリー宅にホーム



▲ホストブラザーと劉さん(左)

ステイしたのですが、ホストファミリーは、優しく、親切で気さくな方で、台湾のことや日本語学習、また将来のことまでいろいろ話しました。夕食では、刺身、豚汁、から揚げ、漬物など日本の家庭料理を食べました。中でも、から揚げがおいしかったです。お酒は普段飲まないのですが、この時初めて、

日本酒を飲みました。台湾では、外食することが多く、お正月くらいしか家族と一緒に食事をする事がなかったので、驚きました。古い町並みの残る栃木市内や最古の学校の足利学校にも連れて行っていただきました。日本が古いよきものを保存していることに感銘を覚えました。ホームステイを通じ、いろいろ学ぶことができました。

●金 素辰(キム・ソジン)さん(韓国の特グン大学の交換留学生。現在、宇都宮大学に留学中。)

私は、今回が二回目のホームステイ体験となりました。前回は那珂川町のホームステイで、稲刈り体験をしましたが、今回はクリスマス間近だったこともあり、クリスマスのホームパーティーをホストファミリー宅で行うということで、一緒に準備を手伝ったり



▲ホストファミリー宅でのクリスマス会(キムさんは中央左)

して、とても楽しかったです。ホームステイ先には中学生の娘さんがいたということもあり、日本のアイドルや韓流スターの話題で盛り上がりました。お母さんが、生け花教室をしていたので、生まれて初めて生け花も体験できました。別れ際に、ホストファミリーから「日本の家族と思っていつでも遊びに来てね」と言われたのが一番うれしかったです。

国際交流団体紹介

「うつのみやラチーノス」

毎週土曜日の午後6:30から8:30まで、清原台4丁目の自治会集会所に約20名のラチーノス(南米)の子どもたちと10名のボランティアが集まります。ここでは、清原周辺に住む子どもたちを中心にポルトガル語や日本の学校の勉強をしています。

多くの子どもは日本で生まれ育ち、両親がブラジルやペルー出身なので、少しポルトガル語やスペイン語が話せる子どもがいますが、話せない子もいます。ブラジルに住んで、ブラジルの学校に通っていた日本人の子どももいます。みんな日本の小中高校に通っています。

日本の生活や日本語に慣れるほど南米の文化や母国語から遠ざかりがちですが、親子のコミュニケーション、アイデンティティの確立、母国の文化・習慣の理解などの大切さ、または、ブラジルに帰ったときに適応できることを願って、この活動は1996年にブラジル人の親が集まり、地域の皆さまの協力によって始まりました。その後、この活動を持続する目的



▲ポルトガル語を学ぶ子どもたち

で、「うつのみやラチーノス」が発足しました。日本の学校に通っていますが、日本語が不十分であるため学校の宿題ができず、教えたくても親も教えられず、困っている家庭もあります。このような子



▲「母の日」のパーティーの様子
ぜながら、楽しく過ごしています。地域のお祭りの参加や国際交流イベントでブラジルの料理や踊りなどの紹介をして親しんでもらっています。

今後も、楽しく学べ、お友達ができる場を提供できる会にしていきたい、と思っています。このようなボランティア活動に関心のある方がいらっしゃいましたら、ぜひご参加ください。

(文:石川アンナ)

もに対しては、小学校の先生や日本人のボランティアの人たちが、国語や数学を個別に教えています。

普段は、ポルトガル語の学習が中心ですが、ブラジルの遊び、母の日、クリスマス会などの催しも取り混



▲清原台4丁目の夏祭りのイベントに参加

とちぎに暮らして…

岸田 カルパナさん



(ネパール王国・ダンクタ市出身、宇都宮市在住) 1993年に結婚して来日。現在、日本人のご主人と高校3年生の娘さんと中学3年の息子さんと暮らしている。

—はじめまして。最初に来日した目的は何でしたか？

私は、平成 5 年に結婚のために、来日しました。主人は当時 JICA の青年海外協力隊で、ネパールに 2 年間派遣されていて、1 年後に友人の勤めていたドミトリーで知り合い、任期終了の時に主人と一緒に日本に来ました。

—行動力がありますね。日本に来るのに不安はなかったのですか？

日本に来るのも、外国に出るのも初めてでしたが、何かあっても主人や主人の家族が、守ってくれるだろうという安心感があり、特に大きな不安はありませんでした。しかしはじめての日本ですから、たくさん困ったことが起きましたよ。特に言葉の壁は大変でした。ネパールにいる時、主人とはネパール語で話していたので、全然日本語は分かりませんでした。それで公文塾で、小学1年生から6年生までの国語を学びました。その後、宇都宮市国際交流協会等で開催している日本語教室に通い始めました。同時に運転免許を取得するために、教習所に通いました。大変でしたけど、免許はなんとかとれました(笑)。

JICA
情報局

JICA ボランティア春募集
【募集期間：4/1～5/14】

これまで皆さんが日本で経験してきたことを、海外に舞台を移して JICA ボランティアとして生かしてみませんか？

開発途上国の入びとのために、自分の持っている技術や知識を生かしてみたい！ そうした意欲を持っている方を派遣するのがJICAのボランティア事業です。

私たちができることで、世界の人たちが明日への希望をもてたら…。それはきっと、あなたの心も満たす素晴らしい経験になるはずです。

～行ってみよう！聞いてみよう～
『募集説明会＆体験談 in とちぎ』
入場無料！予約不要！

【日時】4月21日（土）
【会場】とちぎ国際交流センター



青年海外協力隊 & 日系社会青年ボランティア (20 歳～39 歳)	シニア海外ボランティア & 日系社会シニアボランティア (40 歳～69 歳)
14:00～16:00	10:30～12:30

【問合せ】TIA 内 JICA 栃木デスク 028-621-0777

一すごい努力家なんです。日本の生活はいかがですか。
そうですね。今が一番大変な時期かも知れません。子どもが2人いるのですが、2人とも受験生で…。受験のほうは、推薦入試で合格したので、特に問題はないのですが、これからお金がかかるので、私も何か仕事しなくちゃと思ってます。以前は、公文の添削の仕事をアルバイトでさせてもらっていましたが、現在はしていないので…。東日本大震災後ということもあり、なかなか難しいとは、思いますけど頑張りたいと思います。

—ボランティア活動にも非常に熱心だとお伺いしましたが…。

先日も民間団体でのネパールを紹介するイベントにも参加しました。料理を作ったり、皆さんにあまり知られていないネパールを紹介できて楽しかったです。

以前、私が個人的に行っていたボランティア活動があります。日本で不要になった子供服を持って行き、故郷ネパールの子どもたちに配る事です。子どもの成長は早いので、すぐに服が着れなくなってしまうので、それを現地の子どもたちに着てもらふことです。



▲故郷ネパールの子どもたちに古着を配るカルパナさん

あしぎん国際交流財団より TIA に助成金

平成23年11月18日(金)に足利銀行本店で助成式が行われ、助成金をいただきました。とちぎインターナショナルフェスティバルや日本語学習支援事業で有効に活用させていただきました。誠にありがとうございました。



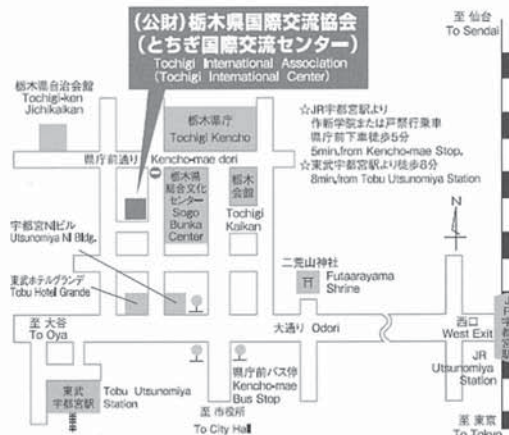
▲助成式

TLA バナー広告募集中!

バナー広告を掲載してみませんか？詳しくは下記をクリック！

<http://tia21.or.jp/banner.html>

TIA ご案内図



編集・発行 公益財団法人栃木県国際交流協会
住 所 〒320-0033 宇都宮市本町 9-14 とちぎ国際交流センター内
T E L 028-621-0777 (代表) 028-627-3399 (相談専用)
F A X 028-621-0951
業 務 時 間 8:30~17:15
休 館 日 日曜・月曜・祝祭日及び12月29日から1月3日